

水野和夫著「デフレ克服より赤字脱却」日本の針路、読売新聞 2010年5月18日朝刊を読む

迫る財政破局

- 1 . (1) 財政問題は先進国にとって最大の問題だ。
 - (2) デフレの克服よりも、財政赤字からの脱却を優先しなければいけない。
 - (3) 「財政非常事態宣言」を今こそやるべきだ。
 - (4) この問題を解決できなければ、先進国から脱落する。
- 2 . (1) 今は日本国債の大半は国内投資家が持っているが、高齢化が進んで貯蓄率が下がり、国内で消化できなくなると、外国人に持ってもらう必要がある。
 - (2) そのためには金利を上げないといけないが、利払い費は膨らむ。
 - (3) すると財政状況が悪化して、円の価値が下がる。
 - (4) 海外から買う原油などの価格は実質的に値上がりし、高い金利で利子を払うため、日本の富はどんどん海外に流出する。
 - (5) それが先進国から脱落するという意味だ。
- 3 . (1) 政治家はよく、景気の悪化を「火事」に例え、「火事が起きているのに財政赤字を心配するのか」と言う。
 - (2) だが、今燃えている家を費用をかけて残しても、成長を前提とはしない将来の社会には適応できない。
- 4 . (1) 日本の借金は国内総生産(GDP)の2倍。体重の2倍の砂袋を抱えている。
 - (2) 増税や歳出削減で生活水準が下がったとしても、それは借金を膨らませた過去のツケを払うのだから、やむを得ない。
- 5 . (1) 世界中の投資家が新たな収益機会を探している。狙われるのは一生懸命に「成長するから大丈夫だ」と説明している国だ。
 - (2) 例えば、財政赤字に苦しんだギリシャは増税や歳出削減を避けて、成長で解決しようとした。

(3) 成長をあてにした言い訳に無理があるとして、市場につけ込まれた。

6. (1) ギリシャの財政危機は公務員給与の高さなどから、特別なケースとの見方もあるが、特殊性はどの国にもある。

(2) 日本は高齢化が早く、社会保障の負担が重くなっている。

(3) 問題が明白なのに対応できていない点はギリシャと同じだ。

7. (1) 日本国債にとって最大の脅威は、中国の人民元の自由化だ。

(2) そうなれば、利子がほとんどない円の預金より、人民元の預金の方が好まれる。

(3) 今は日本国債を持っている日本の銀行も、円の預金が減って人民元の預金が増えれば、円の資産を減らす。

(4) つまり、国内の資金だけでは国債を持ち続けられなくなる。

8. (1) 人民元の自由化は 10 年以上先だろうが、視野に入れるのはもっと早い。

(2) それを見据え、明日からでも財政再建に取り組むべきだ。

9. 日本の借金

(1) IMF(国際通貨基金)が 14 日に発表した報告書によると、日本の政府債務残高は 2015 年に国内総生産(GDP)の 250.0 %となり、ギリシャの 140.4 %を大きく上回る見通しだ。

(2) 財政健全化に向けて、政府は 6 月に 11 ~ 13 年度の歳入・歳出の見通しを示す「中期財政フレーム」と、今後 10 年程度の財政運営戦略をまとめる方針だ。

[コメント]

日本の現状を目をカッと見開いて直視。成長戦略はもちろん推し進めながら、経費削減もやり抜き赤字脱却をまず目指す。まっとうな議論だ。

- 2010 年 5 月 18 日 林明夫記 -